

愛媛から世界へ発信

マルチメディア時代到来

松山の過去と現在 取材で新発見続々

英語教室生

HPコンテスト

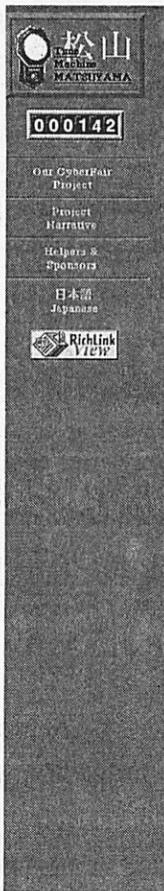
インターネット、CATV、テレビ電話…。世はまさにマルチメディア時代。情報通信システムのめざましい発達で、時空を超えて情報が飛び交う。ネットワークの中で、愛媛も、世界も、瞬時に結ばれる。ネットは人と人との繋がり橋だ。愛媛で情報発信を楽しみ、メディアを活用する人たちを紹介する。

世界のHPコンテスト一位。松山市久万ノ台の英語教室に通う中高生が、今春開催のコンテストに一生懸命。テーマは松山の過去と現在を加しようとHPづくりに一生懸命。テーマは松山の過去と現在をマツヤマ」。自分たちの作品を世界に発信、英語を学ぶ友との交流のきっかけに、夢が膨らんでい

る。コンテストは米国のNGO教育研究団体主催の「インターナショナル・スクールズ・サイバーフェア'99」。挑戦するのは済美笠成中学校二年白石真帆さん(四)、松山東高一年秋元照隆君(さくらん)。昨年、四十三ヵ国五百二校の園児や児童生徒が参加したこのコンテストに同教室の女子高生が出品。地

域の特産物部門で二位を獲得した。これに刺激され、「次は位を自指そう」とみんなの心が一つに。「自分たちの住む地域の過去、現在を知り、英語で紹介すること」で、世界のさまざまな地域の人々と語り合い、新しい驚きや発見につなげたい」と考え、「タイムマシン」をテーマに選んだ。

大街道商店街や道後温泉、松山城、萬葉狂歌、ロシア人墓地など、観光スポットや史跡の歴史と今を写真や漫画を織り交ぜ紹介。松山と世界の年表も作る。松山は大街道商店街の地図作りを担当。同教室教師の清家正亀さんと同僚と一緒に、カメラ手に商店街に繰り出し取材。若者に人気のある店やわき道の風貌や建物にもレンズを向ける。戦前の地図も作製。古書店があつた昭和三十年ごろの一番町側入り口周辺の写真など、古い写真も発掘して掲載。電車の走る音などを入れ、バーチャルリアリティ(仮想現



英語に翻訳してHPに掲載した砥部焼の歴史の漫画



作成中のHPの進行具合をチェックする生徒ら=松山市久万ノ台

実の街並みもつくり出す計画。

秋元君らは松山城や砥部焼の歴史を担当。松山城を題材にエッセイを執筆。砥部焼の陶工の取材や写真や漫画を織り交ぜ紹介。松山と世界の年表も作る。

白石さんら中学生グループ四人

は大街道商店街の地図作りを担当。同教室教師の清家正亀さん

がらも「身近にありすぎて普段あまり興味を持たなかつたがいふんな発見があつて楽しい」と意欲的。HPは一月末までに仕上げて応募。五月中旬、インターネット上で結果の発表と表彰式がある。作成中のHPのアドレスは、<http://www.dokidoki.ne.jp/home1/cyberfall/>